

2025年度前期「企画に対する学生評価」

科目全体の講義企画に対する学生評価

あなたの履修態度・理解度について	問1 事前に教科書や講義資料を読むなど予習をしましたか。
	問2 この科目はどのくらい理解できましたか？
	問3 授業の復習を毎回しましたか。
目的の達成	問4 科目の一般目標を達成することができましたか。
科目内容	問5 あなたにとって科目全体の難易度は適切でしたか。
総合評価	問6 この科目は全体として満足できるものでしたか。

- | | |
|-------------|-----------|
| ⑤ 強くそう思う | (非常に良い) |
| ④ やや思う | (良い) |
| ③ どちらとも言えない | (普通) |
| ② あまりそう思わない | (あまり良くない) |
| ① 全くそう思わない | (良くない) |

科目名：自然科学入門（物理系）

（医学科第1学年前期／必修）

履修者数：26 配付数：26 回収数：26 回収率：100.0%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	3.4	3.0	3.4	3.0	4.0

*評価に対するコメント

自然科学入門（物理系）担当教員

全体としての満足度は4.0でおおよそ例年と変わらなかった。個別の項目では、予習と復習についての項目が例年と比べてやや低く、特に復習の項目は昨年より0.6ポイント低下している。これが難易度に対する評価が0.3ポイント下がっていることに影響している可能性がある。開講期間の短い講義であり、進行速度の速い講義であるから予習復習の重要性を認識してもらう事をより徹底していきたい。

科目名：自然科学入門（化学系）

（医学科第1学年前期／必修）

履修者数：1 配付数：1 回収数：1 回収率：100.0%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.0	5.0	4.0	5.0	5.0	5.0

*評価に対するコメント

自然科学入門（化学系）担当教員

本科目は医学科1年生の基礎化学において必要な基礎知識の習得、および自然科学に対する関心や探究心を育むことを目的としている。今年度は受講生との対話を通し、受講生の興味や疑問に応える形式で講義を展開した。化学に関する基礎的な考え方から、人間社会の発展における科学技術の役割や医学と基礎学問との関係などについて理解を深めた。最後に受講生は講義で学んだ内容をレポートにまとめた。本科目で得た知識や経験が医学を学ぶ上での基礎となることを期待している。

科目名：自然科学入門（生物系）

（医学科第1学年前期／必修）

履修者数：68 配付数：66 回収数：66 回収率：100.0%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.5	4.1	3.0	3.9	4.2	4.4

*評価に対するコメント

自然科学入門（生物系）担当教員

講義は1コマ60分で、講義40分、質問対応10分、小テスト10分としました。質問はmanabaの個別指導機能で受け付け、その場で口頭回答を行い、学生からは「学びが深まった」「他人の質問も聞けてためになった」といったコメントが寄せられました。また、manabaに掲載しているブログ形式の講義資料についても、「予習復習に役立った」等の好意的コメントが6件寄せられ、これらが総合評価4.4につながったと考えます。

科目名：基礎生物学

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：96 配付数：93 回収数：93 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.9	3.0	3.9	3.6	4.1

*評価に対するコメント

基礎生物学担当教員

当科目は1学年の前期に38コマの講義が行われる。1週間に3～4コマの週が全部で10週あり、講義内容の進行スピードが早い状況にある。高等学校のときに「生物」を履修してこなかった学生のなかには、講義内容を十分に咀嚼できないまま時間だけが経過してしまい、学修方法が身につかないまま中間試験や前期定期試験を受けることになる学生もいるようである。来年度から当科目は「通年」になるため、より深く時間をかけて学修することが可能になるとと思われる。問1（予習）と問3（復習）のポイントアップを期待したい。

科目名：統計学

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：92 回収数：90 回収率：97.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.4	3.0	2.6	3.2	2.7	3.2

*評価に対するコメント

統計学担当教員

予習、復習をしなくても内容を理解できたと考えている人がいるようです。そう思う人は、ぜひ実際に自分で問題を考えて、統計を使って解決してみてください。実験するにあたり標本をどの程度とればよいのか、どのような検定をすればよいのかなど多くのことを深く考える必要があります、まだまだ理解が足りていないと実感することでしょう。講義内容は基本事項のみ扱いましたが、応用する上で基本は欠かせませんので、ぜひ基本をマスターしましょう。

科目名：情報リテラシー

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：94 回収数：94 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.2	3.4	2.3	3.4	3.3	3.2

*評価に対するコメント

情報リテラシー担当教員

Thank you for your review. There is a request to teach different content because they already understand Word, Excel, and so on. In fact, they have not acquired sufficient knowledge and skills to write reports. In the first year, we are learning the basic knowledge necessary for the upper grades. We learned about AI and programming, but due to time constraints, our learning is limited to the basics. We look forward to further progress in your learning.

科目名：心理学

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：96 配付数：96 回収数：95 回収率：99.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	3.5	2.7	3.5	3.4	3.6

*評価に対するコメント

心理学担当教員

本科目は基礎心理学と発達心理学および臨床心理学の知識を学ぶことを目的としている。ポイントごとに短い動画教材を併用し、心理学に対する理解を具体的なものにできるように心掛けた。自由記載では「映像資料を用いた説明が分かりやすかった」とのコメントがあった。理解を促進する資料の提示方法を授業担当者間で共有し、改善を続けたい。また、新しい知見に合わせて、授業内容の刷新も進める予定である。

科目名：数学

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：98 配付数：94 回収数：94 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.5	2.9	2.5	3.1	2.7	3.0

*評価に対するコメント

数学担当教員

講義の予習、復習が十分でない人が半数弱いました。自分で手を動かさなければ決して理解できるようにならないので、地道に練習しましょう。また、他分野に関連する話題にも触れて、勉強のモチベーションを高めていく工夫をしていきたいと思います。

科目名：初年次セミナー

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：91 回収数：90 回収率：98.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.0	3.4	1.9	3.5	3.4	3.1

*評価に対するコメント

初年次セミナー担当教員

初年次セミナーは今年度から内容を改変して開講され、前半を医師のキャリアデザインについての授業、後半をレポートの書き方に関する実習としました。授業評価ではレポートの書き方を学ぶことができ有用であったとの意見がある一方、重複する内容が多い等の意見やレポートの締め切り時期に関する要望がありました。今回の授業評価結果を参考にして、今後も授業の改善に努めていきたいと考えております。

科目名：地域医療学

(医学科第1学年前期／必修)

履修者数：96 配付数：96 回収数：76 回収率：79.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	4.0	2.6	4.0	4.2	4.1

*評価に対するコメント

地域医療学担当教員

授業で地域医療の実際の事例を、現在地域で活躍されている講師から多く紹介したことにより、地域医療の現状理解が得られたと解釈している。同様の形式で授業を継続したい。

科目名：分子生物学

(医学科第2学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：97 回収数：92 回収率：94.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.8	3.1	3.8	3.8	4.1

*評価に対するコメント

分子生物学担当教員

分子生物学の知識や技術はすでに身近なものとなり、多様な分野で応用されています。体系的に理解を深めるためにも、教科書の通読を強くおすすめします。あわせて、各概念の背景にある歴史的経緯にも目を向けることで、より深い理解につながります。ぜひ主体的に調べ、学びを広げていってください。

科目名：医療社会学

(医学科第2学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：96 回収数：93 回収率：96.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.8	3.7	2.8	3.8	4.0	4.1

*評価に対するコメント

医療社会学担当教員

今年度は、「医療社会学実習」との関連性を念頭に置いて、患者とのコミュニケーションにも焦点を当てた授業を行いました。授業時間内に実施した課題への解答などを確認すると、授業目標は概ね達成できたと考えています。学生評価の結果にもとづき、来年度は患者とのコミュニケーションへの意欲をさらに引き出せるように、授業内容の改善を検討します。

科目名：医療概論Ⅱ

(医学科第2学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：96 回収数：92 回収率：95.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.8	3.8	2.7	3.6	3.9	4.0

*評価に対するコメント

医療概論Ⅱ担当教員

本科目では、医療倫理に加えて、人に対する医学系研究の関する倫理も扱い、実務経験がない中ではイメージしにくい面があったと思いますが、それらの歴史的経緯や現在における標準的な対応についての知識を得ておくことは重要ですので、学年が上がってもこの分野の情報収集を怠らないようにして下さい。

科目名：機能形態基礎医学 I

(医学科第 2 学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：92 回収数：90 回収率：97.8%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
2.7	3.6	3.0	3.5	3.6	3.8

*評価に対するコメント

機能形態基礎医学 I 担当教員

機能形態基礎医学 I では、組織学総論 (9 コマ)、組織学各論 (32 コマ)、および肉眼解剖の基礎事項 (4 コマ：機能形態学分野・吉田成孝教授に担当いただきました) の講義を行いました。本講義については、高く評価いただいている点がある一方で、改善すべき点についてもいくつかご指摘をいただいております。これらのご意見を踏まえ、来年度に向けて講義内の改善に取り組んでまいります。

科目名：生化学 I

(医学科第 2 学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：92 回収数：84 回収率：91.3%

*評価結果 (平均)

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
3.2	3.9	3.2	3.8	3.9	4.1

*評価に対するコメント

生化学 I 担当教員

医学系講義は医学 2 年の生化学から始まる。一年目にくらべ急に講義の量が増えるので、しっかり計画した大学勉学の習慣をつけて、それ以降の学年もスムーズに進めるかいなかの分水嶺の学年になる。冒頭に、生化学に限らず、臨床との繋がりとしての基礎医学の意義を概説し、学習モチベーションをあげてもらいつつ、医学部での勉強の仕方を冒頭講義に導入しています。本講義のメインである「代謝」は、最終的に、糖、脂質、タンパク代謝のすべてを統合的に理解しなければ、臨床医学にも応用できない点を強調し、それぞれの代謝各論に「横櫛」をいれた復習を兼ねた「統合代謝」講義を最終に加えた。特に、今年度は、学生さんの努力が試験成果に反映されておりました。非常によい傾向であり、来年度以降、彼らの努力に応え、単純な知識を問うものでなく、考える設問を増やしていてもよいと思いました。また、今年度は教官の退職で、担当教官の変更などがあり、講義間の連関性などの問題もありましたが、今後も、ひきつづき、学生が満足できるよう、教員側もポイントを押さえたメリハリのある講義内容や講義資料の改良を不断に続けていきたいと思えます。

科目名：生化学Ⅱ

(医学科第2学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：96 回収数：89 回収率：92.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	3.8	3.4	3.8	3.8	4.0

*評価に対するコメント

生化学Ⅱ担当教員

医学系講義は医学2年の生化学から始まる。一年目にくらべ急に講義の量が増えるので、しっかり計画した大学勉学の習慣をつけて、それ以降の学年もスムーズに進めるかいなかの分水嶺の学年になる。冒頭に、生化学に限らず、臨床との繋がりとしての基礎医学の意義を概説し、学習モチベーションをあげてもらいつつ、医学部での勉強の仕方を冒頭講義に導入しています。本講義のメインである「代謝」は、最終的に、糖、脂質、タンパク代謝のすべてを統合的に理解しなければ、臨床医学にも応用できない点を強調し、それぞれの代謝各論に「横櫛」をいれた復習を兼ねた「統合代謝」講義を最終に加えた。特に、今年度は、学生さんの努力が試験成果に反映されておりました。非常によい傾向であり、来年度以降、彼らの努力に応え、単純な知識を問うものでなく、考える設問を増やしていてもよいと思いました。また、今年度は教官の退職で、担当教官の変更などがあり、講義間の連関性などの問題もありましたが、今後も、ひきつづき、学生が満足できるよう、教員側もポイントを押さえたメリハリのある講義内容や講義資料の改良を不断に続けていきたいと思えます。

科目名：免疫学

(医学科第2学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：96 回収数：92 回収率：95.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.5	2.9	3.5	3.5	3.7

*評価に対するコメント

免疫学担当教員

問5、6で、いずれも3.6点前後の評価でした。おおむね、免疫学に対する理解が深まったと考えます。免疫学は多領域にまたがり、内容的にもファジーで難しい学問領域です。本学では専門の講座がないため、多くの講座の先生によって開講されており系統だって学習しにくい面があると思います。ぜひ学生諸君には、自ら学ぶ姿勢で、講義で疑問が生じた際には、遠慮なく教官の方へ質問して下さい。教科書を全て読む必要はありませんが、指定した教科書は分かりやすく書かれており、ポイントをふまえて読めば、理解の助けになります。講義資料が分かりにくいという指摘があり今後改善が必要と考えます。試験に関して難しいとのコメントがありますが、事前に出題ポイントを提示しており、全問基本的な出題となっていますので、最低6割を取れるような答案を書けるような学習を望みます。

科目名：医学英語Ⅲ

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：107 配付数：107 回収数：106 回収率：99.1%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.8	4.1	3.1	4.1	4.1	4.1

*評価に対するコメント

医学英語Ⅲ担当教員

医学英語Ⅲは、学生のみなさん全員が取り組む e-learning コースと、講師ごとに分かれて行う選択コースの組み合わせで展開しました。皆さんは、課題の意図を理解し、しっかり取り組んでくれたという印象を持っています。皆さんからのフィードバックをもとに、授業方法やアクティビティを工夫したいと考えています。

科目名：医療概論Ⅲ

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：109 配付数：109 回収数：98 回収率：89.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.8	3.8	2.8	3.9	4.1	4.2

*評価に対するコメント

医療概論Ⅲ担当教員

漢方を扱った授業では、座学のみではなく演習を実施し、多領域での漢方治療について学習している。これらにより学生の満足度が高く、来年度も同様の形式で行いたい。

科目名：病理学

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：110 配付数：100 回収数：72 回収率：72.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.6	3.0	3.4	3.6	3.9

*評価に対するコメント

病理学担当教員

全ての項目において平均3点台の評価であり、問題なく展開されたと考えております。難易度に関しては3.6で昨年の3.5とあまり変化がありませんでした。これは、一コマ60分の授業で教える内容がやや多く、今後改善が必要であろうと考えます。しかしながら、予習、復習によって、学生自身の理解度が向上しますので、各人の学習によってある程度克服してほしいと思います。

科目名：心肺病態制御医学

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：110 配付数：110 回収数：102 回収率：92.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	3.8	3.2	3.9	3.8	4.1

*評価に対するコメント

心肺病態制御医学担当教員

学生からのコメントでは、循環器・呼吸器領域の多岐にわたる内容が盛り込まれている中で、特に心臓外科手術の動画供覧に対して高い満足度が得られた。全体の講義満足度も平均4.1点と、例年と同様の水準であった。コーディネートする側として、できるだけ理解が進むよう、次年度に引継ぎ臨みたい。一方、予習3.4点、復習3.2点と例年と同様であり、講義の前後で時間をあけずに予習・復習を行い、理解を深めていただきたい。

科目名：生体調節医学

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：109 配付数：91 回収数：59 回収率：64.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.9	3.3	3.9	3.9	4.1

*評価に対するコメント

生体調節医学担当教員

生体調節医学は、糖尿病、内分泌、腎泌尿器疾患に関して、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、腎泌尿器科、小児科、耳鼻咽喉科の各所属教員により開講されている。評点としては講義に対する理解度・目標達成や満足度は高い一方で、予習・復習については課題が残るようである。やや難解な内容も含まれる領域であるため、理解や知識の定着のために、事前・事後の自発的な学習が望ましい。

科目名：消化器医学

(医学科第3学年前期／必修)

履修者数：110 配付数：110 回収数：71 回収率：64.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	3.8	3.2	3.9	3.9	4.2

*評価に対するコメント

消化器医学担当教員

評価は概ね例年通りであった。時間割の変更を少なくして欲しいとのコメントはほぼ毎年いただく。これはもっともな要望であるが、どうしても臨床医のスケジュールは流動的な部分が多いので、manabaの掲示板をしっかりと確認していただきたい。講義の質問対応期間をもう少し長くって欲しいとの意見があり、次年度の検討課題としたい。

科目名：医療概論Ⅳ

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：96 配付数：96 回収数：84 回収率：87.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.5	4.0	3.4	4.1	4.1	4.2

*評価に対するコメント

医療概論Ⅳ担当教員

全人的医療を主題とする授業で、看護学科と合同で実施した多職種連携演習も本年度から加わっている。全体として学生満足度、理解度が高く、形式は今年度と同様に実施継続する。

科目名：医療情報学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：81 回収率：85.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.5	4.1	3.4	4.1	4.2	4.2

*評価に対するコメント

医療情報学担当教員

概ね、全体満足度の評価をいただいておりますが、満足度向上のためさらなる改善を検討していきたいと思っております。講義内容については、セキュリティやAIなどタイムリーな話題などを講義のなかに盛り込んで改善を行っています。

科目名：医療安全

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：96 配付数：96 回収数：90 回収率：93.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.5	3.9	3.4	3.9	3.9	4.0

*評価に対するコメント

医療安全担当教員

臨床現場でリスク回避に直結する知識・技能に関する実践的医療安全講義を目指しています。実際の事例から学ぶことで自分事として捉えることができたとの評価があり、これは継続したいと思います。コアの部分は努力することなく、気づきとして容易に身につけることができますが、最低限の知識は要求されるため、自己学習は必要です。配付資料は大きくし、講義の目標に近づけるよう PDSA サイクルを回し続けます。

科目名：衛生・公衆衛生

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：94 回収数：54 回収率：57.4%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.1	4.0	3.8	4.0	4.0	4.1

*評価に対するコメント

衛生・公衆衛生担当教員

ここ数年、出席率が悪くなっていたので本年度から出席点を加えることにしています。衛生・公衆衛生の領域は幅広く、制度面については up date が必要になりますので、今後もこの方面の情報収集を続けるようにしてください。

科目名：法医学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：94 配付数：94 回収数：79 回収率：84.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.7	4.1	3.7	4.1	4.3	4.3

*評価に対するコメント

法医学担当教員

法医学は、基礎医学の中の社会医学に位置し、実践に即して法律を適切に理解し、屋内や屋外で亡くなっているヒトを診て、検屍（検案）ができることを目標としている。授業評価では、評定は平均4点以上であり、学生に興味をもって受け入れられたことに感謝している。

科目名：腫瘍学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：87 回収率：91.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.6	4.0	3.6	4.1	4.2	4.3

*評価に対するコメント

腫瘍学担当教員

「腫瘍学」は、悪性腫瘍に関わる基礎医学、臨床医学の各分野エキスパートの先生方から、多角的、多面的に腫瘍に関する知識を学び、理解してもらうことを目指しています。様々な教室の先生方から講義していただくことで、多様性が得られる反面、授業間の連続性をとることが難しいことについて、ご理解ください。テスト結果は良好で、皆さん頑張ってくれたと思います。

科目名：整形外科学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：94 回収数：90 回収率：95.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.6	4.0	3.5	4.0	4.2	4.3

*評価に対するコメント

整形外科学担当教員

評価結果を真摯に受け止め、今後更に良い講義ができるよう、工夫していきたい。

科目名：麻酔科学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：94 回収数：90 回収率：95.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.6	4.0	3.6	4.1	4.2	4.3

*評価に対するコメント

麻酔科学担当教員

本年度も当科の講義に対し、多くの皆様から評価をいただき、誠にありがとうございます。学生の皆様から頂戴した評価を基に、講義を担当する教員一同、次年度以降の講義の改善に努めてまいりたく存じます。

科目名：救急医学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：97 配付数：97 回収数：95 回収率：97.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.7	4.0	3.7	3.9	4.0	4.1

*評価に対するコメント

救急医学担当教員

回収率は97.9%。事前予習は3.7（中央値4）理解度は4、復習をしたもの3.7（中央値4）、一般目標達成は3.9（中央値4）、難易度は4、満足度は4.1（中央値5）だった。結果からはあまり予習・復習をしなくとも理解でき、満足度が高かったものと思われる。これからもさらに理解度・満足度の高い講義を提供したいと思います。

科目名：症候別・課題別講義

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：96 配付数：96 回収数：86 回収率：89.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.5	4.0	3.5	4.0	4.0	4.2

*評価に対するコメント

症候別・課題別講義担当教員

症候別課題別講義は4月から開講され、講義のテーマは文部科学省のコアカリ37症候を基本に構成されており、卒業時までには修得すべき知識を中心に講義をしていただいております。授業評価では難易度や満足度について比較的高い評価をいただきました。今回の授業評価結果を参考にして、今後も授業の改善に努めていきたいと考えております。

科目名：臨床薬剤・薬理・治療学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：94 配付数：94 回収数：88 回収率：93.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.7	4.1	3.6	4.1	4.2	4.3

*評価に対するコメント

臨床薬剤・薬理・治療学担当教員

満足度は、4点前後と学生からは、一定の評価をいただき、「処方せんを書き方を学べたのが印象的だった」など、好意的なコメントも寄せられました。臨床薬剤・薬理・治療学は、広く薬剤に関する領域を扱い、医薬品の適正使用に重要な位置を占めています。学生が、意欲的に学びを進めていけるように、今後も充実した内容の準備をまいります。

科目名：臨床疫学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：50 回収率：52.6%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.1	4.0	3.7	4.1	3.8	4.1

*評価に対するコメント

臨床疫学担当教員

臨床研究の原著論文やメタアナリシス論文をある程度理解できて、自ら臨床研究を実践するための基礎となるようなやや発展的な内容も含むため難易度が高く感じたかもしれません。臨床医としては必須の領域なので引き続きこの領域にも興味を持ち続けてもらえればと思います。

科目名：健康弱者のための医学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：95 配付数：95 回収数：85 回収率：89.5%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.6	4.2	3.5	4.1	4.3	4.3

*評価に対するコメント

健康弱者のための医学担当教員

リハビリテーション医学開講にあたり今年度から7コマ減じて実施。何らかの問題を抱えながら社会生活をしている健康弱者の病態や心理状態など、現場の状況を伝えられる講師に授業をお願いした。全体としての満足度は4.3であり、ある程度学生の心に響くものがあったと思われる。臨床現場に出る前の学年では実感が伴わないものもあったかもしれないが、現場に出れば直面する事象であり、しっかり予習・復習してくれることを期待したい。

科目名：リハビリテーション医学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：94 配付数：90 回収数：74 回収率：82.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.6	4.0	3.5	4.0	4.1	4.4

*評価に対するコメント

リハビリテーション医学担当教員

臨床現場における内容が中心となっているため、その理解度が心配であったが、科目全体としての満足度は4.4点であり、難易度の適切さも4.1点であることより、内容について理解してもらえていると考えられ安堵している。現場にでる際に非常に役立つ内容となっているため、予習をしていただくとより理解が深まるものと考ええる。

科目名：形成外科学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：94 配付数：94 回収数：82 回収率：87.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.7	4.2	3.9	4.2	4.3	4.4

*評価に対するコメント

形成外科学担当教員

予習の有無についての質問の平均が他の質問の評価より低かったと思います。要因としては講義内容の事前の伝達が不足していて、医学生がどのような内容について予習をする必要があるか分かりづらかったことが考えられます。今後はその点について改善を考えます。

科目名：臨床ゲノム医学

(医学科第4学年前期／必修)

履修者数：94 配付数：94 回収数：89 回収率：94.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.7	4.0	3.4	4.0	4.0	4.3

*評価に対するコメント

臨床ゲノム医学担当教員

カリキュラムが新しくなり今年度から新たに開始された「臨床ゲノム医学」には、座学とロールプレイ実習、試験を短期集中で行われました。新規の科目ですので講師の先生には多大な労力をいただき、ハイレベルな講義を展開いただきました。最終的な科目の満足度が4.3であったことはコーディネーターの小職の力不足と言わざるを得ません。次年度の頑張りに期待していただきたく思います。

科目名：情報リテラシー

(看学科第1学年前期／必修)

履修者数：61 配付数：60 回収数：58 回収率：96.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.6	3.9	2.2	3.8	4.0	4.0

*評価に対するコメント

情報リテラシー担当教員

Thank you for your review. We conducted exercises in AI and programming, and everyone sufficiently understood the key points that needed to be learned. Additionally, because everyone was highly motivated to learn, we were able to conduct lectures close to our ideal. We look forward to your further development.

科目名：初年次セミナー

(看学科第1学年前期／必修)

履修者数：61 配付数：61 回収数：59 回収率：96.7%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.5	4.3	2.7	4.1	4.3	4.5

*評価に対するコメント

初年次セミナー担当教員

担当教員が変更となり今年度で2年目となります。その時に授業内容を大きく変更していますが、全体評価は昨年度と大きく変わらず4.5と安定的に評価をいただいております。一定の評価がある反面、マナーから始まり、キャリア～倫理観～レポートなど履修内容が多く、入学生への期待感から詰め込み教育ならないように気をつけなければならないとも振り返っています。キャリアの部分は、実際の現場で活躍している専門職の話を聴くなどの機会をつくることを次年度に向けて検討しております。

科目名：看護社会論

(看護学科第1学年前期／必修)

履修者数：61 配付数：61 回収数：61 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.7	4.4	2.2	4.1	4.6	4.7

*評価に対するコメント

看護社会論担当教員

この授業では、受講生がこれまでは知らなかったであろう社会的問題や課題を取りあげること、受講生が自ら考えるきっかけを提供することを目指しています。学生評価の結果から、授業の目的がある程度達成できたと判断しています。今後も、授業内容を適切に見直すことで、受講生の興味・関心を喚起して、より深い学びのきっかけとなる内容にしていきたいと考えています。

科目名：栄養学

(看学科第1学年前期／必修)

履修者数：61 配付数：61 回収数：61 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.8	3.9	2.5	4.0	4.0	4.3

*評価に対するコメント

栄養学担当教員

全体の満足度については高評価がありました。今後も学生が意欲的に学べるように充実した講義を目指します。

科目名：発達心理学

(看学科第1学年前期／必修)

履修者数：61 配付数：61 回収数：61 回収率：100.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.8	4.0	2.4	3.8	3.9	4.3

*評価に対するコメント

発達心理学担当教員

本科目は医療従事者に必要な基礎心理学と発達心理学の知識を学ぶことを目的としている。3コマ連続の講義であり、出来るだけ飽きが来ないようにポイントごとに動画教材を併用したり、リアルタイムで結果を共有できるアンケートを実施するなどの工夫を行った。その結果、「具体的で分かりやすかった」等のコメントが得られた。今後も授業方法の工夫や内容の充実化を進めていきたい。

科目名：コミュニケーション論

(看学科第1学年前期／必修)

履修者数：61 配付数：61 回収数：58 回収率：95.1%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	4.1	2.6	3.9	4.3	4.4

*評価に対するコメント

コミュニケーション論担当教員

全体の評価としては、例年と同様に一定の評価をいただけたと考えています。その背景には、学生に「考えてもらうこと」に重点を置いた授業展開を大切にしてきたことがあります。例えば、「傾聴」についても、知識だけではイメージがつかみにくいため、事例を提示し、学生一人ひとりが対応を考える工夫を取り入れています。来年度は、さらに理解を深めるために、ロールプレイなどの実践的な要素も導入していきたいと考えています。

科目名：英語ⅡA・ⅡB

(看学科第2学年前期／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.0	3.9	2.8	3.8	3.9	4.1

*評価に対するコメント

英語ⅡA・ⅡB担当教員

今年度は、映画を教材として授業を行う方針を採用して二年目となりました。昨年度から視聴する映画を変更し、練習内容もリスニング練習を中心にさらに充実させました。大部分の学生さんは、きちんと予習に取り組み、授業中も熱心に参加していたという印象を受けています。この授業を通して、① 医療現場で役立つ語彙を身につけること、② 生きた英語を理解できるようになること、③ 映画を視聴することにより「生と死」について考え、優れた医療従事者を目指すこと、以上の三点を達成できたと実感していただけたなら幸いです。

科目名：統計学

(看学科第2学年前期／必修)

履修者数：58 配付数：55 回収数：53 回収率：96.4%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.6	3.2	2.6	3.4	2.9	3.3

*評価に対するコメント

統計学担当教員

事前に講義資料を公開していますので、予習した上で受講すると内容を把握しやすくなります。また、復習についても、講義資料の最後に各回の練習問題が掲載されていますし、解答例も公開していますので、地道に努力して統計の考え方をマスターしましょう。

科目名：感染制御学

(看学科第2学年前期／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.0	3.5	3.0	3.5	3.6	3.7

*評価に対するコメント

感染制御学担当教員

全体の満足度については一定の評価がありました。一方、講義資料について提案がありましたので、今後改善を検討します。今後も積極的に学べるように充実した講義を目指します。

科目名：臨床病態治療学 I（精神・小児・婦人科系疾患）

（看学科第 2 学年前期／必修）

履修者数：58 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果（平均）

問 1	問 2	問 3	問 4	問 5	問 6
2.9	3.5	2.8	3.6	3.6	3.9

*評価に対するコメント

臨床病態治療学 I（精神・小児・婦人科系疾患）担当教員

全体満足度は一定の評価がありました。臨床病態治療学は幅広い疾患・治療法の学習となります。今後も学生が興味を持ち積極的に学べる講義を目指します。

科目名：健康教育論

(看学科第2学年前期／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：55 回収率：94.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.7	2.8	3.5	3.7	3.8

*評価に対するコメント

健康教育論担当教員

学生による評価では、講義の難易度 (3.7) および全体の満足度 (3.8) は概ね良好な水準であった。一方で、目標の達成度 (3.5) は理解度と比較するとやや低い結果であり、その一因として、予習 (2.9) および復習 (2.8) の実施が十分でなかった可能性が考えられる。復習支援として manaba を活用した取り組みを行ってきたが、来年度は復習内容の整理や学習到達度を確認できる仕組みを工夫し、学生の理解と目標達成をより一層促進したい。

科目名：看護理論

(看護学科第2学年前期／必修)

履修者数：58 配付数：56 回収数：55 回収率：98.2%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.4	3.9	3.3	3.9	3.8	4.1

*評価に対するコメント

看護理論担当教員

事前学習を行ったうえで、学生のプレゼンにより学ぶピアレクチャーの科目です。予習は4.4、科目の理解度は3.9、満足度4.1という評価は学生が熱心に学習に取り組んだ成果だと思います。この科目で学んだ看護理論がこれからの皆さんの看護実践の道しるべになることを願っています。

科目名：成人看護学Ⅰ（健康状態と看護）

（看護学科第2学年前期／必修）

履修者数：58 配付数：58 回収数：54 回収率：93.1%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.5	2.9	3.6	3.5	3.5

*評価に対するコメント

成人看護学Ⅰ（健康状態と看護）担当教員

本科目は第2学年前期の必修科目であり、成人看護学の病態理解と生活を結びつけて看護過程を具体的に学ぶことを目的とする。出席率は高く、学生は真面目に学習へ取り組んでいた。授業の難易度・満足度は3.5以上と概ね良好であった。なお、本科目は、成人看護学の入り口となる科目であるため、成人看護学の特徴や健康問題の理解や、看護過程に対する理解が自己学習につながるような講義企画が今後の課題であると考えている。

科目名：精神看護学Ⅰ（個人と社会における精神保健）

（看学科第2学年前期／必修）

履修者数：58 配付数：58 回収数：54 回収率：93.1%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
2.9	3.8	2.8	3.7	3.7	3.9

*評価に対するコメント

精神看護学Ⅰ（個人と社会における精神保健）担当教員

授業評価の結果を踏まえ、全体としてさらにポイントを高める工夫が必要だと感じています。精神保健に関する現象をできる限り多角的に捉えられるよう、資料には工夫を凝らし、学生の興味・関心を深め、復習につなげることを期待していました。来年度は、この目標をより確実に実現できるよう、授業の展開方法も含めて改善を検討していきたいと思えます。

科目名：臨床薬理学

(看学科第3学年前期／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：54 回収率：93.1%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.4	3.1	3.5	3.4	3.7

*評価に対するコメント

臨床薬理学担当教員

全体の満足度については一定の評価がありました。一方、試験問題の出題について、提案がありました、今年度よりコーディネーター（講義担当者）が変更になり、出題傾向が変更されたためだと考えられます。改善予定です。今後も意欲的に学べるように充実した講義を目指します。

科目名：臨床病態治療学Ⅲ（内科・外科系以外の疾患）

（看学科第3学年前期／必修）

履修者数：58 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.7	3.3	3.7	3.8	3.9

*評価に対するコメント

臨床病態治療学Ⅲ（内科・外科系以外の疾患）担当教員

全体の満足度については一定の評価がありました。一方、試験問題の出題について、提案がありました、今後改善予定です。今後も学生が積極的に学べるように充実した講義を目指します。

科目名：保健医療福祉システム論

(看学科第3学年前期／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.9	3.1	3.7	3.8	4.0

*評価に対するコメント

保健医療福祉システム論担当教員

難病と共に生きる人々、貧困、孤立した高齢者等多様な暮らしや尊厳を守る支援を深く理解し、医療だけでは解決できないことに対しどのようにアプローチしていくかを考える科目です。人々の生活の営みのなかに保健医療福祉がどう関連するのか、社会福祉の概念や考え方を軸に、具体的な実践がみえるオムニバス形式で構成しました。皆さんの視野が広がることを期待しています。また、資料のわかりづらさが指摘されており、今後工夫していきます。

科目名：成人看護学Ⅱ（主な健康障害と看護）

（看学科第3学年前期／必修）

履修者数：58 配付数：58 回収数：56 回収率：96.6%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.4	3.9	3.3	3.8	3.9	3.9

*評価に対するコメント

成人看護学Ⅱ（主な健康障害と看護）担当教員

昨年度と同様に講義の予習復習に関する項目である問1，問3が「3.4」、「3.3」と他項目より低かった。一方、科目の理解に関する問2は「3.9」、一般目標の達成に関する問4は「3.8」、講義全体の満足に関する問6は「3.9」であることから、学生の学習目標はおおむね達成できたと考える。次年度も初回のガイダンスで、講義内容の理解のためには予習復習が重要であることをより一層強調していきたいと考える。

科目名：高齢者看護学Ⅱ（老年期の生活障害と看護）

（看学科第3学年前期／必修）

履修者数：58 配付数：57 回収数：49 回収率：86.0%

*評価結果（平均）

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.9	4.0	4.0	4.0	4.1	4.2

*評価に対するコメント

高齢者看護学Ⅱ（老年期の生活障害と看護）担当教員

多くの学生さんに評価していただきありがとうございました。今年度は、予習復習の小テストの実施率を高めること、講義の中で学生さんが考えたことを共有する機会を持つことに取り組みながら講義を計画いたしました。予習復習については、多くの学生さんが実施してくれていました。しかし、提出締め切りにバラツキがあったことで気を使わせてしまったようですので、次年度は改善していきたいと思っております。

科目名：在宅看護学

(看護学科第3学年前期／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：55 回収率：94.8%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
4.0	4.0	3.3	3.7	4.0	4.1

*評価に対するコメント

在宅看護学担当教員

在宅で行う看護のイメージがもてるよう動画視聴や非常勤講師から実際について授業を受けた。時々、ワークをして個人やグループで在宅療養者やその家族への関わり方について考える機会となった。社会資源の活用や法令・制度について学ぶとともに、ニーズの高い疾患や在宅ならではの強みをいかした看護過程の考え方などの特徴を理解することができた。さらに、授業前には小テストを実施し、授業中に理解を深めてもらう取り組みも行ってきたが、今年度は少数ながら否定的な意見があったことを受け止め、今後の参考とする。

科目名：がん看護学

(看護学科第3学年前期／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：44 回収率：75.9%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.7	3.3	3.6	3.8	3.6

*評価に対するコメント

がん看護学担当教員

学生の誰しもが一度は出会うがん患者さんへのQOLをどのように理解し、支援するかについての学びを今年も豊かに得たようでした。特に、がん看護で重要なコミュニケーション場面の動画による学習は、コロナ禍以降で初の対面での学びを報告していただきました。がん看護の基盤となる知識（理論と臨床）と技術を、今後がん看護学を通してさらに満足感が高まる学びにできるよう共に目指したいと思います。

科目名：チーム医療・リハビリテーション看護論

(看護学科第3学年前期／必修)

履修者数：58 配付数：58 回収数：57 回収率：98.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.2	3.9	3.3	3.9	3.9	4.0

*評価に対するコメント

チーム医療・リハビリテーション看護論担当教員

学生評価では、予習 3.2、復習 3.3 であった。本科目は、リハビリテーションに係る専門職による講義で構成しており、講義前後の予習復習に関しては実施できていない。しかし、次年度においては、マナバの小テストを活用し、予習復習の機会を設ける等について検討する。また、全体の評価は昨年と同様に 4.0 であった。最終講義でワールドカフェ方式によるワークを行ったが、次年度に向け評価し、授業構成を検討していきたい。

科目名：国際保健・災害看護論

(看護学科第4学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：57 回収率：95.0%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.1	3.8	2.9	3.7	3.8	4.0

*評価に対するコメント

国際保健・災害看護論担当教員

この科目は国際保健・異文化看護と災害看護で構成され、共通の土台として人道支援の考え方があります。世界には様々な価値観と生活があり、文化を尊重した看護、危機的な状況の中生活している方への看護など環境に配慮する原則に立ち返ったのではないのでしょうか。ボリュームのある内容を15コマで駆け足で行ったため物足りなさや理解が難しく感じた学生もいたようです。また資料が紙媒体よりPDFの方が学習しやすいとの意見もあり今後の検討とさせていただきます。

科目名：看護管理・医療安全論

(看護学科第4学年前期／必修)

履修者数：60 配付数：60 回収数：53 回収率：88.3%

*評価結果 (平均)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
3.3	3.8	2.9	3.7	3.9	3.9

*評価に対するコメント

看護管理・医療安全論担当教員

本授業では、小テストやレポートなどを課さない運営であったため、受講後の復習が難しかったと考える。今後は、小テスト等を取り入れるなどの工夫が必要である。また、授業内にグループワークを取り入れ、それに向けた事前学習を促すことで、主体的な学びを促進したいと考える。講義内容は抽象的な部分が多かったが、具体的な事例を用いることで理解の促進につながったと考える。